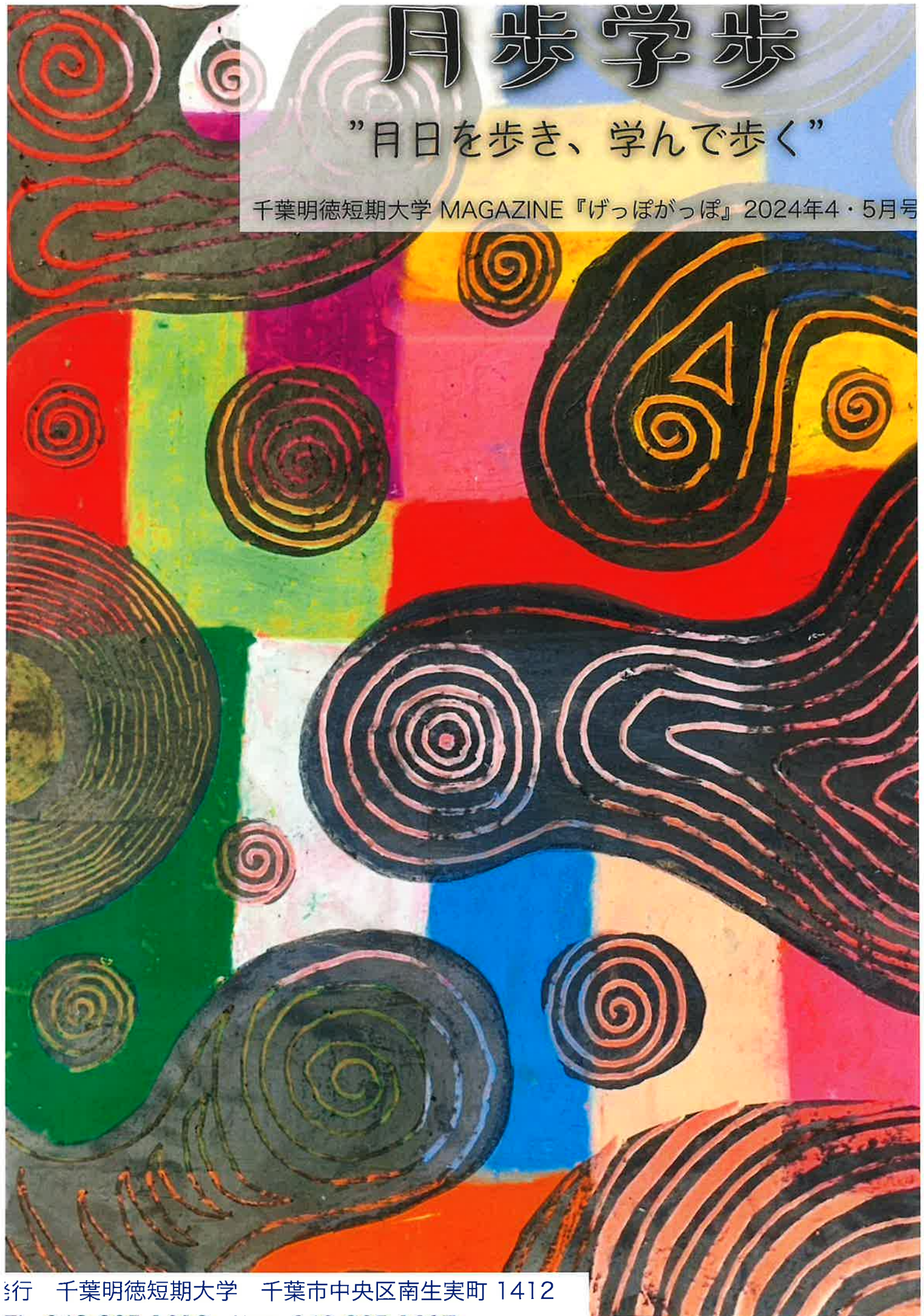


月歩学歩

”月日を歩き、学んで歩く”

千葉明德短期大学 MAGAZINE 『げっぽがっぽ』 2024年4・5月号



発行 千葉明德短期大学 千葉市中央区南生実町 1412

TEL 043-335-1310 FAX 043-335-1337

4・5月号 CONTENTS

学園にある桜が開花したのは、ちょうど4月3日（水）の入学式の日でした。窓越しに見える開花した桜は、新入生からよく見える場所に佇み、明德学園の豊かな自然も教員や2年生と同様に新入生を心待ちにしていたかのようでした。入学式で、朗らかな表情を見せていた55回生となる新入生。仲間同士で会うのはこの日が2回目でした。

初めて顔を合わせたのは、2月に行われた「スタートアップカレッジ」という新入生説明会です。短大の授業を体験し、新入生同士でグループに分かれて課題に取り組みました。仲間同士での交流があったことから、新しい生活への安心感をもてた様です。その後の学校生活や授業で「あの時話せていて良かった！」と学生から嬉しい声が教員の耳に入ってきました。授業での発言やグループワークでの積極的な話し合い等、学生が主体的に参加しており、共に授業を創る時間がふえていると感じています。まだ入学して1ヶ月ですが、授業以外にもオープンキャンパスのスタッフをしたり、附属幼稚園のアルバイトに取り組んだりと楽しんでいる新入生。これからもどんどん挑戦して学生生活を満喫してください！

そんな1年生を温かくやわらかく迎える2年生は、教育実習に向けて準備中です。3週間の実習に戦々恐々としつつも、仲間同士で情報交換をしながら昨年度よりも実践的な授業に取り組んでいます。教養科目の現代社会論もスタートしました。この授業はグループに分かれフィールドワークを行い教養として社会を見る目を育む授業です。生活を支える社会の仕組みは普段は馴染んでいてなかなか見えませんが、知ることでも角的な視点をもたらすきっかけになると思います。様々な授業に取り組み、吸収していきましょう！



入学式特集

- 03 入学式の風景
- 04 新入生の言葉
- 05 歓迎の言葉
- 07 理事長祝辞
- 08 学長式辞

明德の取り組み

- 10 オリエンテーションウィーク
- 12 授業紹介 「遊び技能演習」

New!

- 14 新しい教職員のご紹介
- 15 新月歩学歩委員の紹介

第55回
千葉明德短期大学
入学式



新入生の言葉

堀口 夢実



暖かな日差しの中、やわらかい風に包まれ、春の訪れを感じるこの良き日に、千葉明德短期大学への入学を迎えることができ、嬉しい気持ちと、このような盛大な式を挙げていただいた事への感謝の気持ちでいっぱいです。

本日は私たち新入生のためにこのような式を挙げて頂き、誠にありがとうございます。

私は子どもと関わるのが好きです。昔から弟や近所の子ども達の面倒を見る機会が多く、母が保育士だったこともあり、その姿に憧れ、将来子どもと関わる仕事に就きたいと考えていました。中学生の職場体験で保育園に行ったことがきっかけで、実際に子どもたちと触れ合い、仕事を学び、実践的な体験をさせて頂き、保育士の仕事は楽しいだけではなく、小さな命を預かること、子どもたちひとりひとりの気持ちを読み取り、その子に合った働きかけをする

ことの大変さを実感しました。それと同時に、やりがいと子どもたちの笑顔を引き出せることの喜びを感じ、保育者になりたいという気持ちがより強くなりました。

そんな時に会ったのが千葉明德短期大学です。私はオープンキャンパスに何度も足を運び、保育体験にも参加しました。その中で、知識からではなく体験からの学びを重視するという考え方に共感し、私はここで学び、保育者を目指したいと強く思いました。

千葉明德短期大学は実践の場が充実しており、実習の機会も多く、体験を軸にした学びがあり、キャンパス内に常に子どもがいるという恵まれた環境もあります。そんな魅力溢れる千葉明德短期大学でこれから二年間学び、保育者を目指せることに私は今、期待と喜びでいっぱいです。

私が楽しみにしている授業は遊び基礎演習の授業です。この授業を通して、遊びの仕掛けを専門的に学び、実習の場で取り入れながら、自分のものにして、多くの引き出しを持ち、子どもの興味関心を惹きつけられる保育者になりたいです。二年次には、わくわく体験研修に参加し、現地の文化に触れ、知識や考え方を広げて、保育者としての深みを得たいと考えています。他にも、保育アルバイト、ボランティア活動、やってみたいと



思ったことには失敗を恐れず、自ら積極的に参加して、実践的に学べる機会を大切にしながら、幅広い知識、経験、保育技術を身につけ、成長していきたいと思っています。

最後になりますが、これから二年間、新入生一同、力を合わせ、学びの時間を大切にし、それぞれの目標に向かって日々努力していきますので、温かいご指導のほど、よろしくお願い致します。

歓迎の言葉

峯島 日菜多



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。今日みなさんはどのような気持ちでこの日を迎えられましたか？きっと、新たな生活に不安や期待など様々な思いで胸を膨らませていることと思います。1年前の私もみなさんと同じ気持ちでした。

少し、私の話をさせていただきます。

私は中学2年生の時、職場体験で認定こども園に行きました。体験をする中で子どもたちの成長を近くで見守ることにやりがいを感じ、保育について学びたい、保育者になりたいという思いから、この学校に入学しました。そして、私にとって入学からのこの1年間は、あっという間でしたが、大きく成長できた濃い1年だったと感じています。

なかでも、学内で学んだことを踏まえて行われる実習では、様々なことを経験し、新たな保育の視点や自分の課題などを見つけ出すことができます。私が保育所実習で1歳児クラスに入り、室内遊びをしていた時の出来事です。保育室内の窓を開けて換気していたため、風が吹くとカーテンが動く状態になっていました。換気をしている窓の近くでは、Kちゃんが遊んでいて、強い風が吹いた際にカーテンが大きく動きました。Kちゃんは、突然動いたカーテンに驚いた様子で、少し怖がっている表情をしていました。私が「びっくりしたね。風さんが来たね」と言うと、笑顔で「うん」と言いながら頷き、不思議そうにカーテンを見つめていました。私はその様子を見て、Kちゃんに「風さんって呼んでみよう」と声を掛けました。すると、Kちゃんはカーテンに向かって「風さん。おいで」と大きな声を出して、風を呼び始めました。風は自然の力のため不定期に吹いていましたが、Kちゃんの呼びかけに応えるように風が吹き、カーテンは何度も動きました。カーテンが動くとき最初は怖がっていたKちゃんも嬉しそうな表情で、「風さん来た」と私に伝えてくれました。しばらくKちゃんがこの遊びを楽しんでいると、他の子どもたちもやって来て、風を呼ぶ声が

増えていました。なかには、カーテンが動くともまごとで作った料理を差し出す子どもたちもいて、私は子どもたちの想像力の豊かさに驚きました。

この出来事で、自然の力が子どもたちの遊びを広げることを体感することができました。風が吹くからカーテンが動くという仕組みが私たちにとっては当たり前なことでも、子どもたちにとっては不思議なことで、自分たちの呼びかけに応える魔法のように感じたのではないのでしょうか。また、1人の遊びが他の子どもたちへと広がっていき、子どもたち自身で友達との繋がりにも気づくことができるのではないかと考えました。

以上のように、保育には子どもたちをとりまく環境が大きく関わります。人との関わりや自然を含む様々な環境が、子どもたちの生活や遊び、そして新たな発見に繋がります。また、子どもたちから学ぶこと、気付かされることなども沢山あるため、保育を通して子どもたちと共に大人も成長していくことができますし、一方で、子どもが発見していることや不思議に感じていることに共感できるよう、日々の学習や体験を通して私たち大人も成長していく必要があると考えさせられました。

1年前の私は、このような考え方をすることはできませんでしたが、明德での学びや実習を通して少しずつ成長することができていると感じています。新入生のみなさんは、今は不安な気持ちもあると思いますが、同じ目標や夢を持った仲間と支え合い、充実した2年間を過ごしてほしいと願っています。明德のあたたかい環境のなかで一緒に頑張っていきましょう。



理事長祝辞

福中 儀明

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。またご家族の皆様方、おめでとうございます。

本学は1970年に創立されました。皆さんは第55回の入学生になります。新しい出発という、このよき日、まず最初に本校の名前「明德」の由来について説明させていただきます。

今から約2000年昔に書かれた中国の古典「大学」の中に「明德」という言葉が出てきます。「大学」といっても高校に続く大学のことではありません。「小学」に対する「大学」の意味です。「小学」といっても小学校のことではなく、「小さな学問」いわゆる、よみ・かき・そろばん、といった個人が生きていくために必要な身の回りの基礎的な学問、これが小学です。



一方、大学は小学よりもっとしべルの高い大きな学問、自分が生きるためではなく、世のため、人のためになる学問を意味します。

「大学」を究めるためにはどうしたらよいのか？この本の中には次のように書いてあります。「大学の道は明德を明らかにするにあり」「明德」とは人が天から得たすぐれた能力、人間として生まれながらに持っている人間性であり、明德を明らかにする、とはそれを輝かせる、ということです。

さらに続く一節には、「明德を明らかにせんと欲する者は先ずその知を致す。」とあります。明德を明らかにするためには、まず知恵と知識を身につけ知性を究める。そうすれば善悪の判断ができるようになり、心が正しく豊かになるということです。

本学は小さな組織ですが中身は豊富に詰まっています。同じキャンパス内には附属幼稚園があり、こども臨床研究所があります。学校附属としては千葉県内最初の明德本八幡駅保育園があり、さらに2番目の駅型保育園である明德浜野駅保育園もあります。姉妹法人である社会福祉法人千葉明德会の明德土気こども園と習志野市内に明德そでの保育園もあります。そして9年前には県内八街市に明德やちまたこども園も開園しました。また6年前には附属幼稚園がこども園になり1・2歳児もはいるようになりました。

ですから皆さんは今日から本学の学生になっただけではありません。入学と同時に幼稚園や保育園やこども園の研修スタッフになったと考えていただいたほうがよいでしょう。明德という総合・保育・創造・組織の一員に加わったのです。

皆さんのこれからの学びと活躍に期待し、理事長よりの祝辞と致します。

学長式辞

由田 新

84名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。千葉明德短期大学での2年間はじまります。一緒に楽しい学びの場にしていきたいでしょう。

明德自慢の桜もみなさんの入学を待っていたかのように、咲き始めました。これからますます綺麗になりますから楽しみにしてください。

ご臨席の保護者のみなさま、本日は、ご入学おめでとうございます。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。一人一人の学生を大切にし、支えていきたいと思います。

そして、多くの来賓のみなさまにお集まりいただきました。新入生を見守ってくださり感謝いたします。どうもありがとうございます。



入学にあたって、新入生の皆さんにお話ししたいことは、次のことです。それは、明徳の「体験から学ぶ」という学びの精神を大切にしてほしいということです。

オープンキャンパスでも「体験から学ぶ」という明徳で大事にしている学び方について話を聞いてきたと思います。みなさんは、そこに何か共感することがあったからこの千葉明徳短期大学を選ばれたのだと想像します。嬉しい限りです。ですから、明徳に入学したからには、明徳にある様々な体験の場、機会を自分のためにどんどん活かしてほしいと思います。なんでもやってみましょう！

明徳でいう「体験から学ぶ」というのはどういうことか、ここでもう一度お話しさせていただきます。「体験から学ぶ」という言葉のさす中身は、は、単にやってみることだけではなく、そのあとに自分の感じたことを言葉にしてみる、それを皆と語り合うこと、いろいろな見方を手に入れること、理解を深めること、そして、次の体験に活かすということが含まれています。単なる「やりっぱなし」ではありません。仲間とともに「振り返る」ことまでを指しているということです。なぜ、そういう学び方を大切にするのでしょうか。それは皆さんに自分で気づき、考え、問い続ける姿勢を持つ保育者になってほしいと願うからです。

保育には、「教科書」がありません。それぞれの園で、子どもの姿に合わせて、保育を考えます。そして、保育はマニュアル化することはできません。誰一人同じ子どもはいませんし、ひとりの子どもに対してもその時その時の状況によって対応の仕方は変わります。常に相手がどう思っているのか、そういう相手の内面を読み取って、どうしていくか自分自身で考えていくことが求められます。「体験から学ぶ」中で、自分の気づきを持ち、仲間との学び合いの中で自分の見方を広げていくことを通して、自分の中に様々な視点を手に入れていきます。そのことは相手を理解するための窓口を増やします。

話を戻しましょう。みなさんは、先日のスタートアップカレッジで、自分たちで意見を出し合い、企画を考え実際にやってみるという体験をしました。どうだったでしょうか。その後、感じたことを言葉にしてみました。残念ながらその先の仲間との学び合いの時間は取れませんでした。明徳での「体験から学ぶ」ことの入口になっていました。そして、明日から、オリエンテーションウィークと称して、いろいろな体験的な課題に取り組むこととなります。5月になると幼稚園での保育体験がすぐに始まります。楽しみにしてください。もちろん、自分の体験を言葉にしていくことを忘れないでください。

これからの2年間、明徳では、授業の中で「体験から学ぶ」機会を多く用意しています。積極的に参加してほしいと思います。

一方で、体験は授業内だけではなくありません。明徳では、様々な体験ができる場や機会を設けています。それを活かせるかどうかは皆さん次第です。自分たちで火を起こしてバーベキューをやってみるのもいい体験です。畑があるので何か育ててみるのもよいでしょう。幼虫を育ててみるのもいいかもしれません。教員にそういったことを投げかけてみてください。いろんなことを面白がってみましょう。こういうことは学校を楽しむことにもつながります。せっかくだから、自分でその体験をちょっと意識して考えてみてくださるとなお、嬉しいです。

コロナ禍が収まって、サークル活動も復活してきました。2年生に混じって活動するのもいい

ですし、まだまだサークルは少ないので自分たちで新しいサークルをつくることも楽しそうです。体験の幅をどんどん広げていってください。その結果はすぐには見えないかもしれませんが、長い目で見た時にみなさんを成長させていることを確信しています。

もう一度いいますが、なんでもやってみましょう！

さあ、これから明德での2年間の学びが始まります。教職員一同、みなさんの学びを支えていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

みなさんが本学で充実した学生生活を送り、様々な体験を通して素敵な大人へと保育者へと成長することを願って式辞といたします。



本学専任教員と理事長



森田
睦巳



四條 サラ



桐
あんな



井口 桃花

2024年度 学友会メンバー紹介

会 長：山本 風音(ふうと)さん	今年こそスポーツ大会します！
副会長：森田 睦巳(むつき)さん	企画運営に力を注ぎます！
副会長：四條 サラさん	学生のやりたいを実現します。
書 記：桐 あんなさん	笑顔あふれる学校にします。
会 計：井口 桃花(ももか)さん	皆で思い出を作ります。

今年の学友会も盛り上がりそうです！どうぞよろしくお願い致します。



オリエンテーションウィークをふりかえって

伊藤 恵里子

今年度も保育者を目指す初々しい面持ちの新入生を迎え、入学式の翌日から4日間のオリエンテーションウィークが行われました。これは、新入生が明德での学びに少しずつ慣れていけるように組まれた1週間であり、通常授業とは異なります。

まず、明德短大を代表する授業といっても過言ではない「あそび基礎演習」において思い切り遊ぶことから始めました。保育者にとって「遊び」は非常に重要なキーワードです。幼稚園教育要領等で「遊びを通して総合的に教育（保育）する」と述べられているように、子どもは遊びを通して育っていきますから、その傍にいる大人は遊びのことをよく理解していないといけません。理解するといっても頭で考えているだけでは自分の内側に落ちていかないので、本学ではまず保育者となる学生自身がたくさん遊ぶことを大事にしています。保育は、保育者の身体を通して直接的・具体的に行われる行為ですので、遊び一つをとっても、そのことを頭と身体で理解していくことが重要なのではないのでしょうか。

また他には、「教養基礎演習」の授業も体験しました。「子どもが面白いと感じるもの」というテーマのもと、グループ毎に学内外に出かけました。「子どもの視点でどんな感じだろう？」と身体を小さくして周りを見ている学生がいたり、「綺麗なものはきっと子どもも綺麗って感じるよね」という学生がいたり、さまざまな「面白いもの」を見つけました。この授業では、他者（子ども）の視点に立つということを経験してみたわけです。

以上のように、オリエンテーションウィークでは、自分自身が楽しむこと、他者の視点や気持ちを理解しようとする、この2点について体験しました。現在は通常授業が始まっていますが、これらは2年間の授業を通して根底に流れるものです。私たち教職員もこれらのことを頭の片隅に置きながら、学生一人ひとりの成長を支えていきたいと思っています。

学生が見つけた

「子どもが面白いと感じるもの」

※11ページにも写真が載ってます！



2024年度 オリエンテーションウィーク日程表

日付	1・2限	3・4限
4/3 (水)	入学式	
4/4 (木)	あそび基礎演習	学生生活ガイダンス
4/5 (金)	保育内容演習（学校周辺探検）	教務ガイダンス
4/8 (月)	時間割通りの授業を体験	
4/9 (火)	教養基礎演習	時間割通りの授業を体験

あそび基礎演習

置く！

紙テープで遊んでみよう！

投げて！ からの・・・
まとめる

高く積む！

跳ぶ！

回す

保育内容演習

左の図は教員の似顔絵！

①～⑥をP9の写真を見て当ててみよう☆
一、自己紹介ビンゴ（多人数と自己紹介）
二、グループで学内探検クイズ（課題の
写真と同じもの・同じ場所を探そう）

教養基礎演習

「雨二モ負ケズ、風二モ負ケズ…」を体験！？
ではなく、学内外で「子どもが面白いと感じるもの」を探
す課題。当日は雨風が強かったですが、果敢に外にも探し
に行く姿が。学生のセンスを感じました！

授業紹介：2年生必修科目

「あそび技能演習」

教育実習に向けて、今まで学んできた表現系科目を部分実習や責任実習に繋がられるように学んでいます。2年生は、音楽、造形、身体、言葉の4つの分野をローテーションで受講します。

造形担当：池谷潤子

造形の授業では、実習等で使用するパネルシアターの舞台作り、パネルシアター「おさらの上の」のアレンジ作品などを制作しています。こちらから提示したものをただコピーして作るのではなく、学生1人ひとりのオリジナルアイディアがいかされる作品になるように課題を設定していますが、2年生はおもしろがりながら作り、みんなの前で発表することを楽しんでいます。これは、1年次の「あそび基礎演習」（担当者：深谷・田中・大澤）で学んできた成果で、他者の表現に興味を持って、それぞれの工夫を面白がり、尊重する姿勢があるからできることだと感じています。特に、ここ3、4年は、作品のアイディアのユーモアが飛び抜けていて、私も学生さんの感性から学ぶことが多くあります。いくつか作品を載せますので、「何の食べ物」でできている「動物」か、よく見て当ててみてください。



左から石井喜美先生、阿部友理先生、園田真名美先生、池谷潤子先生

音楽担当：阿部友理

私が担当する『音楽』の授業では、子どもが音やリズムで楽しく遊べるような環境や援助について学んでほしいと思っています。2年生の皆さんは昨年度、あそび基礎演習や音楽表現演習において様々な音楽表現を体得されました。今年度はその学びを保育者としての視点で発展できるように手遊びやわらべ歌のバリエーション、音楽を活用した集団遊び、小物打楽器を使っの音遊び、歌の教材作りなどを取り入れています。また、歌の教材作りの課題では、発表での学びに加え、発表を見た学生が一人一人にコメントを書き、声の大きさや表情、歌詞の意味、歌に合わせたペープサートの動きなど具体的な援助の方法も学び合ことができました。私が気が付かなかったコメントもあり、目から鱗です。6月の教育実習では、自信をもって自己発揮できるよう期待しています！

言葉担当：石井喜美

幼稚園で6年間勤務していました。専門分野は「発達心理学」です。今年度は、一年生の「発達心理学」も担当しています。明德の授業以外の日は、専門学校や他の短大の授業をしています。趣味で、3年後までにボクシングのプロのライセンスを取得することが密かな目標です（年齢制限があるので…。まずは鈍った体を動かすところから頑張ります！）。

言葉の授業の内容は、「発達（年齢）に合った絵本・紙芝居の選び方」、言葉を使った遊びとして「ペープサート作り」、手遊び等です。私自身、幼稚園に就職した時にペープサート等の保育教材や自信をもってできる手遊びが少なく、苦労しました。学生の皆さんには、保育現場ですぐに使える引き出しを一つでも多く増やしてほしいという思いで授業を行っています。私は保育が大好きです。保育の楽しさ、大変さも含めたやりがいも、一つの経験談として皆さんにお伝えできればと思っています。

身体担当：園田真名美

バレエを習いたいと言い出したのは私が3歳の頃。5歳からバレエ教室に通い始め、25歳の時、劇団四季に入団しました。

私の将来に繋がる道の始まりが、まさに幼稚園生の頃だったことを思うと、その頃どんなことに出会い、どんな人たちと時間を共にするのか…幼児期に過ごす環境はその人を作るベースとなっているのではないかと感じる場合があります。そのため私が大切にしていることは、子どもたち一人一人を尊重し真剣に向き合うこと、そして自分も楽しむことです。身体の授業でも、ゲームやダンスの模擬指導を体験する中で、子どもたちとの向き合い方を考えながら楽しく体を動かしていきます。

楽しむことは成長への第一歩！

うまくやることを目標とせず、どうすれば良いか、どうすれば良かったのかを"考えられる人"、子どもたちのために"しっかりと準備ができる人"を目指して、クラスの人々と楽しみながらたくさんのことを学んでいきましょう。

新・教職員



2024年4月より、千葉明德短期大学に講師として着任した
小木曾 友則 (こぎそ ともりのり)と申します。本学では主に教育実習、保育実習の指導等を担当させていただきます。

私の教育理念は、「**幼児教育の世界の面白さを伝える**」ことです。この理念は、私のこれまでの教育経験を踏まえた社会的な使命であると自覚しており、私の教育活動並びに研究活動の基盤です。

私の主な研究テーマは、「**保育を振り返る**」という行為に関するものです。自身の保育体験を振り返りながら、自らの見方や考え方に気付く省察のプロセスは、保育者が専門性を高め成長する上で欠かせないものだと考えています。

特に、省察を言語化することで、保育者自身や他者との学びをより深められる可能性を探っています。私は保育者養成において、学生には実習の準備と実習、実習後の振り返りを通じて「子どもにとってどうか」という視点で保育を考えることができる力を身に付けてほしい願っています。この視点は、児童の権利に関する条約の基本原則でもある「子どもの最善の利益」と同義です。常に子どもの立場に立ち、子どもの最善の利益とは何か問い続けながら向き合う姿勢を身に付けることは、保育者の重要な資質だと考えています。**幼児教育の世界の面白さは、目の前の子どもと関わる瞬間だけでなく、実践の振り返りによってもたらされる**と考えています。私は学生とともに、その面白さを分かち合いながら、幼児教育の現場に貢献できる人材を育てていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

2024年4月より、千葉明德短期大学アドミッションセンター長に就任しました**花井 洋平 (はない ようへい)**です。私は千葉明德短期大学を卒業し保育士として22年間働き、3月までは明德系列園である明德やちまたこども園で副園長として現場で保育を続けていました。

4月から短大で働き、最初は戸惑うばかりで「何をしたら良いのか？」と悩むことばかりでした。そんな時に声を掛けてくれたり、**力になってくれたのは短大の学生たち**です。アドミッションセンターにはたくさんの学生が気軽にカウンター越しに声を掛けてくれます。これは、これまでアドミッションセンターの職員が築き上げてきた学生との関係や雰囲気の良さ、**学生ファーストで向き合ってきたのだ**ということが大きいのだと感じます。私はそんな学生にInstagramの使い方から始まり、短大のこと。そして、短大の良さを学ぶことができます。特に驚いたことは、私よりもこの短大の良いところや大事にしているところを語るができるということです。このことは簡単なことではありません。**学生がどれだけこの短大を好きなのかということがわかります！**

私はそんな学生がいる卒業大学でもある千葉明德短期大学が好きです。だから、保育を目指すならここに来て2年間学び、保育者として現場に巣立ってほしいと願っています。

昨今、保育者が少なく現場は疲弊しているところもあります。保育の仕事って誰でもできるわけではありません。国家資格をもつプロの仕事です。だからこそ保育という仕事を世にもっともっと認めてもらわなければなりません。そのためには、学生一人一人が卒業し保育の現場で子どもたちに携わり、保育者の仕事を理解してもらえるよう頑張っていってほしいと願っています。明短卒業生なら大丈夫と信じています。何もわからない私に短大の魅力やアドバイスを語ってくれる学生たちや教職員と一緒に千葉明德短期大学の魅力を今後も外に発信していっていかれたらと思います。どうぞ皆様お力をお貸しください。よろしくお願いいたします。



新・月歩学歩委員

2年生

2年の土田 友花（つちだ ゆうか）です。

私は1年間、保育内容演習のときに配られる月歩学歩を楽しみにしていました。私みたいに月歩学歩を楽しみにしている人がいたら、**その人たちのために私にもできることがあればやってみたい**なと思ったので今回参加させていただくことになりました！**誰かのために何かをすることがとっても楽しい**な、と明德で1年間過ごして思ったので、この気持ちを大切にしてみっと色々なところで誰かのためになるようなことを、小さなことからたくさんやりたいなと思っています！よろしくお願いします♪

2年の郡山 里彩（こおりやま りさ）です。

昨年と同様に、今年も月歩学歩の製作に参加させていただくことになりました。昨年はアルバイト等の都合でなかなか参加することが出来ませんでした。今年こそは月歩学歩を皆さんに届ける為、努力していこうと思っています。**手に取っていただいた人達に楽しんでいただけるよう**、企画も月歩学歩委員の皆と協力して盛り上げていきますので、よろしくお願いします。

新しく月歩学歩委員になりました、2年の谷口 莉望（たにぐち りの）です。1年間の短大生活を振り返ってみた時に学校に貢献出来ていないと思ったり、学校生活で思い出に残る事が実習しかないことに気づき、**少しでも残り1年の短大生活で思い出を作りたい**と思い、月歩学歩委員に参加させて頂きました。

この短大で過ごす日常などを形として残せるように、みんなの思い出となるようなものを作って行けるように頑張っていきたいと思っています。1年間よろしくお願いします🎵

今年から新しく月歩学歩委員になりました！2年の佐藤 葉悠（さとう はゆ）です。1年生の時から月歩学歩をよく拝見させていただいていたと同時に、**こんなに素敵な内容の物を学生と先生で協力して創っていることに驚いた**ことをよく覚えています。そして、これからはその活動に私も参加させてもらえることを心から嬉しく思っています。明德の素晴らしさや、学生の活動などを存分に皆さんにお届けできるよう頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いします！

2年でも月歩学歩委員を継続することになりました西尾悠真（にしお ゆうま）です。

前までは先輩に引っ張ってもらっていましたが、**今年度は自分が新しく入ったメンバー達を引っ張っていけるよう**に頑張っていきたいと思っています。



桜側後列）左から

佐藤葉悠さん、西尾悠真さん、郡山里彩さん、
前列）左から土田友花さん、谷口莉望さん

少し季節を遡り・・・3月へタイムスリップ！！

3月15日(水)京成ホテルミラマーレにて、第53回卒業証書授与式が挙行されました。

2年生の皆さん、数ヶ月後のこんな景色を思い描いて学生生活を楽しみましょう！



式後には、卒業パーティーが催されました！



編集後記

真夏のように暑い日があったり、嵐のような日があったり、春の天気はこんなにも不安定なものでしょうか・・・自然豊かな学園から2024年度もどうぞよろしくお願い致します。(osawa)



<学事日程>

5月14日(火)～

7月7日(日) 公開講座 めいトーク

16日(木) 2年生・履修登録確認期間

7月15日(月) 休日授業(月曜日課)

5月17日(金) 2年生・教育実習事前訪問

7月19日(金) 明德はうたう・夏
(学内コンサート)

5月26日(日) 1年生・障害者スポーツ大会

5月31日(金) 1年生・中間ガイダンス(1限)

7月25日(木) 1年生・金曜日課、
前期授業終了

6月10日(月)～

28日(金) 2年生・教育実習II

7月30日(火) 2年生・金曜日課

6月28日(金) 1年生献花式

